

### 3 イボキサゴ

(ニシキウズ科)

兵庫県ランク:C

*Umbonium moniliferum*

環境省ランク:NT

#### 種の概要

北海道南部から九州に広く分布し、沿岸の浅海から内湾、干潟に生息する。殻径は20mmほどになり、縫合直下に疣彫刻が並ぶ個体もあるが、ないことも多い。青灰色や黄灰色の地に黒、茶褐色、黄褐色、緑色などの点列が並び、帯状斑になる個体も少なくない。分布は広いが、過去のように豊産する場所は少なくなり、絶滅箇所も多い。

#### 主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○			△	△			

#### 県内分布

姫路市、たつの市、赤穂市、淡路市

#### 県内における生息状況及びその他特記事項

今見られないからCに変更。瀬戸内海と淡路島の細砂海岸の潮間帯や潮下帯に生息する。但馬では潮下帯での生息である。1990年代は生貝の記録が乏しく死貝がほとんどであったが、2000年代になってから急激に生息数が増えてきた。下水設備の普及などによる河川や沿岸域の水質や底床の状態が改善されてきたことで増加したとも考えられるが、中国や韓国等からの輸入アサリに混入したものが繁殖拡大している可能性も否定できない。

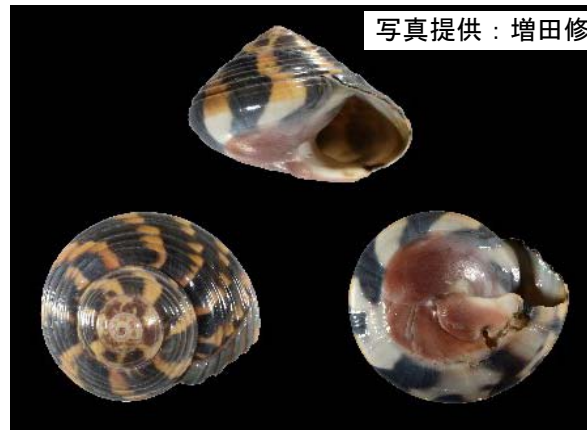
#### 保護上の留意点

在来、外来については別として、河川や沿岸海域の水質の悪化を防止し、青潮などの嫌気的現象を起こさないように努める。また、細砂環境に多産する傾向にあるので、泥や有機物が滞留しないよう、離岸堤や突堤の建設には十分な配慮をする。

写真提供：川淵千尋



写真提供：増田修



【執筆者】 増田修